

# 軽量型農POフィルムの効果確認試験

JAびばい

鈴木 盛輝



No.1



No.1①



No.2



No.2②



試験フィルムNo.1



試験フィルムNo.2

## 試験目的

軽量農POフィルムの効果確認

## 試験作物 及び品種

水稻育苗(きたげんき(飼料米))

## 試験資材 及び数量(規格)

タキロンシーアイ軽量PO 2種類  
(0.1mm×770cm×52m) 1種類ずつ2枚

## 慣行資材

コーティング5+1

## 栽培方法

### 定植日

慣行区:4月7日

試験区:4月7日 →フィルム張った日 水稻を並べたのは 4/28

## 資材使用期間

4月7日～6月3日

## 試験区面積

300㎡×2棟

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

センターマークにて種類判別(英語①、日本語②とする)。慣行品と展張は変わらない。軽くなるという話であったが、感度は変わらなかった。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

①は慣行品と同じような生育をした。温度も変わらない印象。しかし②は朝7時の気温が①と比べて2℃ほど低く、温度の立ち上がりがゆっくりであった。

最高気温は変わらない。ハウスの位置が②のほうが通常良いのだが、①と同じ程度となってしまった。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 軽量であることを期待したがあまり変わらず残念。

【問題点】: 温度の立ち上がり速度。

### (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

風が強いときに展張したが、破れも出ず強度は遜色ない。POであれば5年程度で交換するが、その時まで持てば問題ない。ポタ落ちも問題なし。

### (5)保温効果について

シルバーポリトウは使用せず、ラブシートを使用している。0℃近くなったらかけたり、その後はがしたりなどを繰り返している。

田植え時期は慣行品と変わらず、問題はない。②の温度立ち上がりが気になる程度。

## モニター感想

片付けはやはり軽くもなく、慣行品と変わらない印象であった。慣行品と厚さを比較するため、手で触ってみても変わらない印象。

①のフィルムであれば慣行品と変わらず、コスト面で優位性があれば検討の余地がある。

②のフィルムは一長一短があり、暑い年であれば有効的であると思われるが、フィルムが古くなり曇ってくるとさらに温度を確保することが困難になると予想され、導入にはこの足を踏む状況。

## JA担当者の感想(農業資材課 星野氏)

近年ハウスの大型化も進み軽量商品とのことで期待したが、残念ながら体感する結果とはならなかった。ただ、生育、耐久性において慣行資材と遜色がなければ、コスト面が下がれば需要拡大(普及推進)につながるであろう。

今後もこのような資材試験を行い、資材の効果(特性、優位性)等を組合員の皆様に体感していただきたい。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

強度や透明性など継続的に見ていきたい。